

平成29年第1回さくら市議会定例会一般質問順番

平成29年2月27日（月）午前10時～ 4人

質問順番	質問者名
1番	永井 孝叔 議員
2番	加藤 朋子 議員
3番	渋井 康男 議員
4番	櫻井 秀美 議員

平成29年2月28日（火）午前10時～ 4人

質問順番	質問者名
1番	岡村 浩雅 議員
2番	笹沼 昭司 議員
3番	石岡 祐二 議員
4番	大河原 千晶 議員

平成29年3月1日（水）午後1時～ 3人

質問順番	質問者名
1番	福田 克之 議員
2番	若見 孝信 議員
3番	小堀 勇人 議員

永井孝叔 議員

1. 生活環境の保全及び生活衛生向上対策について

さくら市は、水と緑に育まれた豊かな自然や、古代から交通の要衝として栄えてきた歴史・文化、農業を基調としたふるさと景観など多くの貴重な環境資源を有している。

一方、悪臭や騒音、不法投棄の発生など、解決しなければならない環境問題も多く抱えている。

とりわけ、大野地区においては、私が、一昨年の12月定例会で質問したように事業活動によって悪臭等が発生し、地域住民の方々の生活環境が著しく脅かされている状況が現在もなお続いている。

そこで、大野地区での生活環境の保全及び生活衛生の向上対策に市長が先頭に立って積極的に取り組むべきと考えるが、市長の考えを伺う。

答弁を求める者 市長

2. 悪臭防止法に基づく規制措置について

栃木県における悪臭防止法に基づく規制対象地域は、都市計画法に基づく用途地域及び市町長が特に定める地域とされており、日々悪臭に苦しめられている大野地区などは、現在、規制対象地域に指定されていない。

大野地区及びその周辺地域は、近年住宅街として発展してきており、また、周囲には学校等の施設も複数あることから、悪臭防止法に基づく規制措置を行う必要性が高い地域である。

そこで、喫緊の課題である悪臭問題を解決するため、大野地区及びその周辺地域を規制対象地域に指定して、悪臭防止法に基づく規制措置を行うべきと考えるが、市長の考えを伺う。

答弁を求める者 市長

3. 中山間地域スマートコミュニティ事業の推進について

県は、木質バイオマスから発生した熱を生かし、地域ぐるみの省エネや地域活性化を目指す「中山間地域スマートコミュニティ導入支援事業」の一つに本市のプロジェクトを選定したと発表した。

このプロジェクトは、「耕作放棄地を活用し栽培したバイオマス燃料の熱利用」を行うもので、実現までには、資源作物エリアンサスの栽培やペレットの製造、さらには、温泉施設等でのペレットボイラー導入など、多くの課題があると聞く。

そこで、バイオマスによる熱供給事業を核としたスマートコミュニティの構築に向け、今後どのように事業に取り組んでいくのか、市長に伺う。

答弁を求める者 市長

加藤 朋子 議員

1. 市内公共交通の展望を示せ

高齢化著しい我が国、自家用車中心の栃木県において運転が難しくなった高齢者の足の確保は急務である。公共交通整備により、市内全域を網羅できるのか、できるとすれば、いつどのような手法で行うのか。

答弁を求める者 市長

2. 子ども達のために教育環境整備を

長時間学校で過ごす子ども達のために、トイレの洋式化等、教育環境整備は不可欠である。また教職員を煩雑な事務から解放し、子ども達と向き合う時間を確保するために、市として出来ることはないのか。より質の高い教育のために何をすべきと考えるか。

答弁を求める者 市長、教育長

渋井康男 議員

1. さくら市立中学校国際交流事業について

- ①同事業の目的を達成するうえで、現在のアメリカは相応しい社会なのか。
- ②同事業における子供たちの安全と安心の確保について。
- ③事故や事件に遭遇した場合の補償と行政責任の範囲。

答弁を求める者 市長、教育長

2. 全国学力・学習状況調査及び、体力運動能力調査結果について

- ①同調査における本市児童・生徒の結果を把握しているか。また、その傾向は。
- ②県の結果と同様であれば、どのような要因が考えられるか。
- ③児童・生徒の体力・学力向上に向けて、今後の取り組みは。

答弁を求める者 市長、教育長

櫻井秀美 議員

1. 東京五輪と農業の国際水準認証について

東京五輪やパラリンピックでは選手団に提供される食事は15,000食に上がる。日本GAPやGLOBALGAPなどの国際水準の認証を生産農家に義務化する可能性が高いといわれているが、東京にも近いさくら市の農産物を提供できるチャンスと考える。そこで質問します。

- ①JAとの連携は考えているか。
- ②県農政部との連携は。
- ③海外輸出についても同じような認証が輸出を増やす鍵となっているが、取得に向けた市の対応は考えているか。

答弁を求める者 市長

2. 氏家駅前開発と地方創生補助事業について

市は地方創生事業の申請で駅前の交流館建設が国からの回答で補助が7,500万円程受けて、総額1億5千万円で建設できることになったと聞くが、氏家駅周辺の再開発との整合性について質問します。

- ①氏家駅周辺の再開発に関する構想はあるのか。
あれば、その中に交流館の構想はあったのか。
また、なければ、何故今回申請したのか。
- ②交流館の運営はどのように行うのか。

答弁を求める者 市長

3. 鐵竹堂、笹屋別邸の活用について

- ①鐵竹堂の利活用計画の状況は。
- ②笹屋別邸を活用した周辺回遊計画の状況は。

答弁を求める者 市長

岡村浩雅 議員

1. 子どもの居場所づくり事業について

- ① 貧困に直面し支援が必要な子どもをどのように把握し、どのように支援に結びつけているのか。
- ② 子どもの貧困対策として国の「子供の未来応援地域ネットワーク形成支援事業」や県が新年度から実施予定の「子どもの居場所づくりサポート事業」があるがこれらを活用する予定はあるのか。

答弁を求める者 市長

2. 高齢者居住安定確保計画について

- ① 介護を必要とし施設への入所を考えている方で入所待ちの方の要介護度及び人数は。
- ② 現在施設入所待ちの受け皿として民間が運営する「サービス付き高齢者住宅」がある。今回法改正により市町での「高齢者居住安定確保計画」が制定可能となり、サービス付き高齢者住宅立地の誘導等が可能となる。そこで計画策定に取り組む予定はあるのか。

答弁を求める者 市長

3. 本市における林業の現状及び木材活用について

- ① 本市における、林業従事者数・木材出荷額及び本市産木材がどのように活用されているのか。
- ② ウッドスタートの取り組み、保育園での木製玩具購入等のいわゆる「木育」導入の考えはあるか。
- ③ 森林資源を活用した新たな産業として「セルロースナノファイバー」がある。本市においても今後の企業誘致への情報収集のために「ナノセルロースフォーラム」に参加してはどうか。

答弁を求める者 市長

笹 沼 昭 司 議員

1. 学童保育の設備と運営について

- ① 4月からの各小学校の学童保育の状況は。
- ② 南小の設備と運営について。
- ③ 今後の取組み方について。

答弁を求める者 市長

2. お丸山の生活環境保全林について

生活環境保全林の管理の現況について。

答弁を求める者 市長

3. まちなかカフェについて

- ① 通所型サービス B 事業の公募と補助の考え方について。
- ② 複合的な拠点整備の考えについて。

答弁を求める者 市長

4. 塩谷広域行政組合ごみ処理施設建設に係わる鷺宿地区の要望書について

鷺宿行政区がごみ処理施設の受苦圏であり、その対応について要望書を提出した。市長としてその要望書についてどのように考えているか。

答弁を求める者 市長

5. 平成29年度予算編成について

- ① 地方交付税の減額と臨時財政対策債の依存が高まる懸念について。
- ② 効率的な財政運営と経費の節減について。

答弁を求める者 市長

石岡祐二 議員

1. さくらスタジアムについて

- ① さくらスタジアムは日本陸連の公認を取るのか。
- ② 今までの利用状況と今後の利用計画は。

答弁を求める者 市長

2. 市営住宅の今後について

- ① 市営住宅の整備はどのように考えているのか。
- ② 市営住宅を現在地に建て替えるのではなく、市内の中心市街地に立て替えては。

答弁を求める者 市長

3. さくらロード沿線開発について

- ① さくらロード沿線開発はどのように考えているのか。
- ② 街灯設置の設置計画はどのように考えているのか。

答弁を求める者 市長

大河原 千 晶 議員

1. 都市計画とさくら市土地利用調整基本計画について

2つを比較すると、用途地域とゾーニングの部分について一部整合性が図れていない区域があるがなぜか。

答弁を求める者 市長

2. 市民協働の推進について

①地域の課題を共有し、市民と解決に向けて取り組むための仕組みづくりとして「フィックス マイ ストリート」や「ちばレポ」のようなシステムの導入の考えは。

②若者の力を活用した施策はあるか。

答弁を求める者 市長

福 田 克 之 議 員

1. さくら市資金管理及び運用基準について

- ①これまでの運用方式は。
- ②運用上の課題は。
- ③今後の運用方式は。

答弁を求める者 市長

2. 地域の資源・課題の把握分析作業について

- ①どのような進め方でおこなうか。
- ②具体的なスケジュールは。
- ③把握分析作業後の取り組みは。

答弁を求める者 市長

3. 教育機関研修支援金助成事業について

- ①どのような進め方でおこなうか。
- ②選考方法、スケジュールは。
- ③教育機関終了後の配置は。

答弁を求める者 市長

4. スクールソーシャルワーカー（SSW）について

- ①これまでの成果は。
- ②対応上の問題点は。
- ③今後の取り組みは。

答弁を求める者 市長、教育長

若見孝信 議員

1. 地方創生の進め方について

- ①本市における「人口ビジョン」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の特徴は何か、改めて問う。
- ②地方創生推進交付金は2年目になるが、まち・ひと・しごと創生総合戦略における評価や達成状況を踏まえ、1年目と比べてどういった内容を工夫・改善しているか。
- ③地方創生推進交付金について、「使い勝手がわるい」と思っているか。また、そうだとしたらどこが使い勝手がわるいか。

答弁を求める者 市長

2. 不法投棄等について

- ①不法投棄された数量（トン）はどのくらいか。
- ②不法投棄に対する対策はどのように行っているか。

答弁を求める者 市長

3. 高齢者の免許返納者と自動車運転に対する対策について

- ①本市の免許返納者数と返納率は（70歳・80歳・90歳）。
- ②免許返納者に対する支援は。

答弁を求める者 市長

小堀 勇人 議員

1. 新・学校給食センターについて

給食センターの新設にあたり基本的な考えを問う。

答弁を求める者 市長